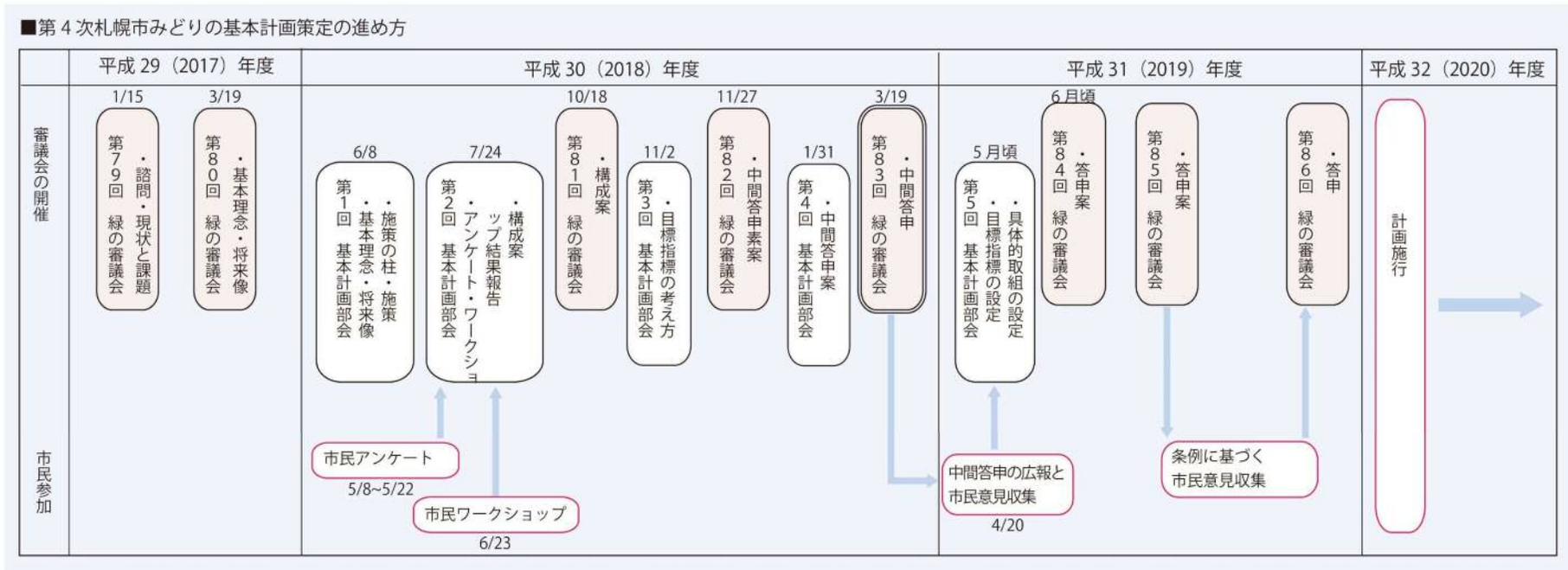


■第4次札幌市みどりの基本計画策定の進め方



■目次

○第4次札幌市みどりの基本計画策定の進め方 P1

○言葉の定義について(活動) P2

○基本理念の再検討 P3

○将来像について P4

○基本理念と将来像の関係について P5

○計画の体系図について P5

○目標・指標について P6

○将来像図について P7

○都心のみどりづくり方針について P9

【本日の主な議題】

- ・基本理念の再検討について
- ・目標・指標について
- ・将来像及び将来像図について
- ・都心のみどりづくり方針について

<第82回審議会・第4回部会でのご意見>

・「守る、つくる、育てる、活かす」は主体性の高いものであるため、市民との距離を詰める観点から、活動に「知る」「伝える」を加えてもよいのではないかと。
 ・活動について、「誰が」「何を」行うのか具体的な内容の補足が必要。



・「守る」と「育てる」の具体的な内容が重複する部分があるため、「育てる」に集約し、「知る」を追加しました。
 ・本計画の対象となる「活動」について、具体的な説明を追加しました。

<言葉の定義について>

【みどりの定義】

みどり

本計画では、札幌における森林、草地、農地、公園緑地、河川や湖沼地のほか、民有地を含めたすべての緑化されている場所（公開空地や壁面緑化を含む）、さらには樹木や草花（コンテナや鉢などに植えられたものも含む）などを「みどり」と定義します。

※みどりの中の個別事項を指す場合は、「都市公園」「都市公園の樹木」「河川」「植樹帯」「樹木」「コンテナ花壇」など個別の表現を使うこととします。

みどりのオープンスペース

本計画では、「オープンスペース」のうち、特にみどりによるうるおいのある空間や、植物に関わる人々が交流できる空間を「みどりのオープンスペース」と定義します。

森林、農地、民有地緑地、壁面緑化、樹木、草花など

公園緑地、河川、みどりのある公開空地など

みどりのない屋外広場、屋内の広場空間など

オープンスペース

「オープンスペース」とは、人が自由に出入りできる、開放的な広がりをもった空間です。

【計画の対象】

これからのまちづくりに対応したみどりづくりでは、市民や活動団体、事業者など様々な主体と連携したみどりづくりの活動に取り組む必要があります。そのため、本計画では、前ページで定義した「みどり」に加え、「活動」を計画の対象とします。

みどり

- 森林、草地、農地
- 公園緑地、河川や湖沼地
- 公有地・民有地の緑化（公開空地や壁面緑化等を含む。）されている場所
- 樹木や草花（コンテナや鉢などに植えられたものも含む。）

活動

- みどりを“知る”活動 ～ 自然観察会を開催したり参加することでみどりの大切さを学んだり、みどりの機能を普及啓発する活動など
- みどりを“つくる”活動 ～ 植樹活動、花壇やプランターの設置、自宅の庭づくり、開発などとあわせた民間や行政による施設の緑化・みどりのオープンスペースの創出など
- みどりを“育む”活動 ～ 森林の保全や育樹活動、花壇やプランター、庭などの手入れ、みどりのオープンスペースの維持管理など
- みどりを“活かす”活動 ～ 今ある公園緑地や森林を、民間活力の導入などにより、より魅力的に使う工夫をしていくことなど

基本理念の再検討にあたり、これまでの議論を踏まえ事務局案を提示します

＜第82回審議会・第4回部会でのご意見＞

- ・高い理想を持ちながら考えていくという、意思表示はすべき。
- ・市民に向かって訴えるものがよいため、魅力的な言葉が入っているとよい。
- ・SDGsに基づいているという事が伝わるように、「持続可能」は入れる必要がある。
- ・グリーンシティという言葉は、みどりがあふれたまち、札幌のみどりが国際的に優れていることが伝わる。
- ・基本理念は1～3章の内容を踏まえて導き出されたという流れがよい。
- ・基本理念の文言に要素を入れすぎてしまうとわかりにくくなる。
- ・子どもや高齢者など誰にでも伝わる言い回しが良い
- ・SDGsのこの目標に貢献できるという表現が良い。

・市民に分かりやすく文言を整理しました。
・SDGsに貢献する意味も込めて、「持続可能な」という表現としました。
・本編P56で1～3章の内容を踏まえて基本理念を説明しています。

＜第81回審議会提示案＞

札幌の魅力であるみどりを大切に、新たな価値を生み出し、みんなに愛され、世界が憧れる持続可能なまちを創っていく

実現しようみんなの手で
人とみどりが輝きさっぼろ

＜第82回審議会提示案＞

市民目線を主眼におく

札幌の魅力資源であるみどりを
知り・伝え・守り・活かし・引き継ごう

多様なみどりと豊かな暮らしが息づく
持続可能なまち さっぼろ

第4次みどりの基本計画で目指すものに主眼をおく

札幌のみどりを守り、つくり、育み、活かして
魅力を高めよう

持続可能なまちづくりを牽引する
さっぼろグリーンライフの創造

世界水準を目指した新たな都市像の発信に主眼をおく

札幌の魅力であるみどりを大切に、
新たな価値を生み出し、みんなに愛されていく

世界に誇れる持続可能なまち
グリーンシティさっぼろ

＜再検討の前提＞

●4つの重視すべき視点を基本理念に取り入れます



- ①札幌の活力を維持していくため、都市の魅力を高めるみどりの空間を、都心を中心に創出し、活用していく視点
- ②少子高齢化等に伴い市民ニーズが多様化する中、公園緑地に集うことで生まれる、優しい地域コミュニティを育む視点
- ③地球環境の保全や生物多様性のベースとなる自然環境を守り、教育の場、ふれあいの場として活用する視点
- ④集約型のまちづくりを行う中で、今ある公園をより一層活用するとともに、まちづくりと連動してみどりのオープンスペースを創出する視点

＜基本理念検討の視点＞

市民の活動を通じて	第4次計画らしさ	まちづくり戦略ビジョン	様々な視点を包含する言葉	市民にとってわかりやすい
<p>『知り、つくり、育み、活かして、魅力を高める』</p> <p>▶「みどりの活動」によって、みどり資源の有効活用を目指すことを表現</p> <p>【審議会のご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「守る、つくる、育てる、活かす」は主体性の高いものであるため、市民との距離を詰める観点から、活動に「知る」「伝える」を加えてもよいのではないかと。 ・例えば「札幌のみどりを守り、つくり、育み、魅力を発信しよう みどりと暮らし続けるまちさっぼろ」 	<p>『新たな価値を生みだし』</p> <p>▶今まで守り育ててきたみどりを守りながら、機能をさらに高め、活用することで、新たな価値を生み出すことを表現</p> <p>【審議会のご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価値は客観的に存在しているのではなく、市民が見出したり、つくりだしたり、選んでとっていくという観点が大事。 ・「新たな価値」が改定のキーワードとなる。 	<p>北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち</p> <p>札幌・北海道の様々な魅力資源を、一人一人の創造性によって、より磨き上げながら、それを国内及び世界に発信することで、世界との結び付きを強め、投資や人材を呼び込むなど、世界が憧れ、活力と躍動感にあふれる、心ときめくまちを実現します。</p> <p>【審議会でのご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり戦略ビジョンとの整合が必要。 	<p>『持続可能』</p> <p>▶SDGsの17の目標に通じる「持続可能」を使用することで、国、道の施策との整合を示すとともに、様々な要素を包含した表現とする。</p> <p>【審議会でのご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsという言葉があれば、国や道の政策に基づいていることがわかる。 ・SDGsは17の目標があり非常に多義的に定められているため、「持続可能」は入れる必要がある。 ・SDGsのこの目標に貢献できるという表現が良い 	<p>『グリーンシティさっぼろ』</p> <p>▶多様なみどりと豊かな暮らしが息づいている新たな都市像を「グリーンシティさっぼろ」と表現する。</p> <p>【審議会でのご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや高齢者など誰にでも伝わる言い回しが良い ・市民に向かって訴えるものがよいため、魅力的な言葉が入っているとよい ・札幌のみどりが国際的に優れていること、みどりがあふれたまちがイメージできる

本計画におけるSDGsの位置づけについて、P13社会情勢の変化、P56基本理念に追記しました。

＜基本理念案＞

みどりを知り・つくり・育み・活かし、
新たな価値を生み出し、まちの魅力を高めよう

持続可能な
グリーンシティさっぼろ

【考え方】

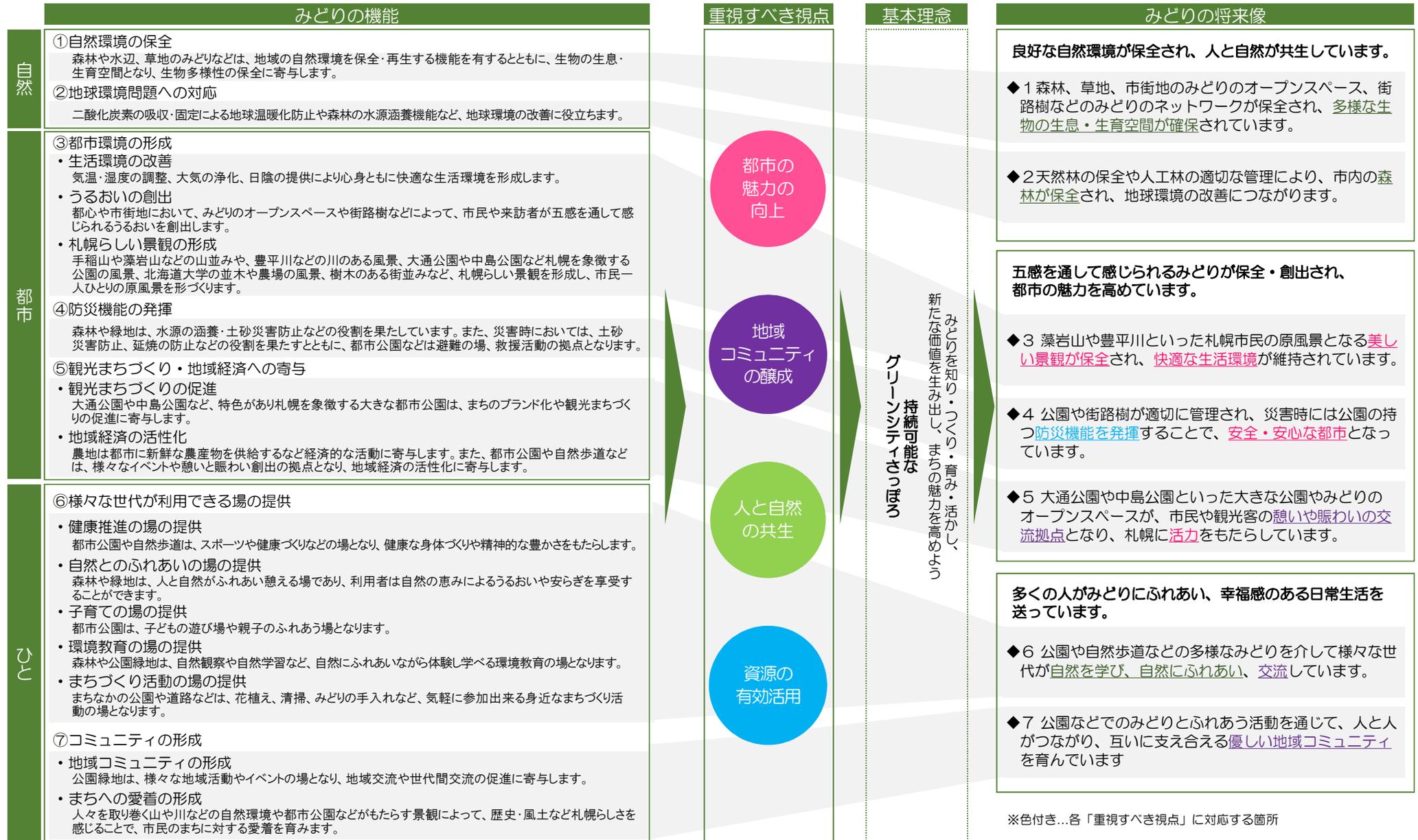
市民と一緒に取り組む、みどりを知り・つくり・育み・活かす「みどりの活動」によって、みどり資源を積極的に有効活用し、今まで守り育ててきたみどりを守りながら、機能をさらに高めることで新たな価値を生みだし、まちの魅力を高めていきます。

「グリーンシティさっぼろ」は、より魅力的な札幌を創造し、未来につなげていくことを表現しており、「グリーンシティさっぼろ」の実現に向けて取り組んでいくなかで、SDGsの「11住み続けられるまちづくりを」や「15陸の豊かさを守ろう」、「17パートナーシップで目標を達成しよう」をはじめとした世界的な開発目標の達成に貢献しながら、持続可能なまちを目指していきます。

<第82回審議会・第4回部会でのご意見>

・「自然」「都市」「ひと」の将来像が個別の将来像(◆)と連動していない。
・「ひと」の施策が活動中心であれば、「活動」でもよいのではないか

・それぞれの将来像ごとに関係するよう修正しました。
・みどりの意義と連動するよう将来像を修正しました。

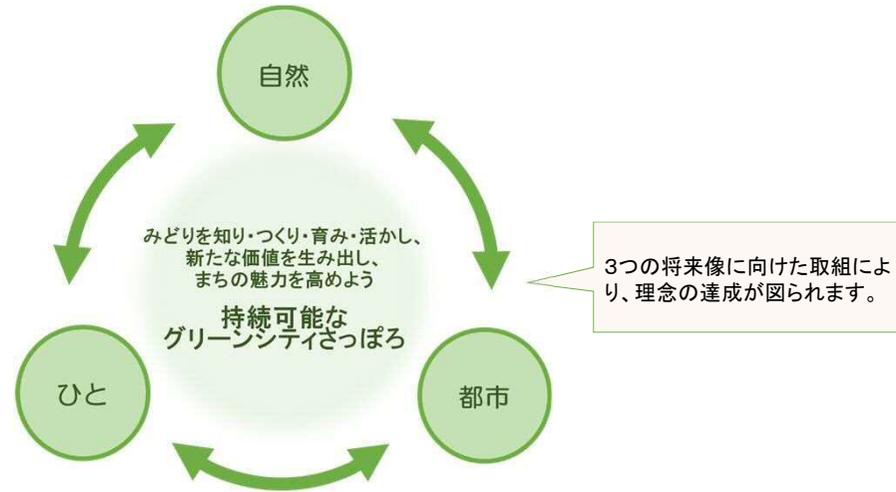


※色付き...各「重視すべき視点」に対応する箇所

<第82回審議会・第4回部会でのご意見>

・基本理念の修正とリンクさせながら、関係図を修正するとよい。

・関係図を修正しました。

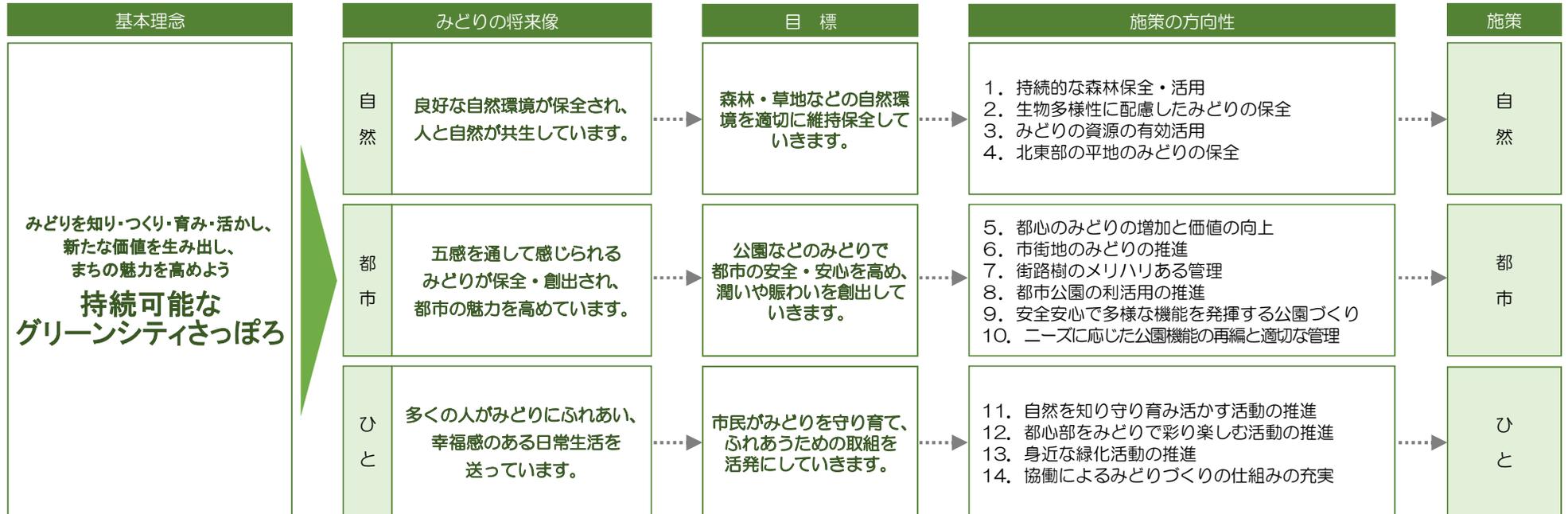


計画の体系図について

<第82回審議会・第4回部会でのご意見>

・取組の柱はなくてもよいのではないか。将来像ごとに施策を分類するのは苦しいのではないか。
 ・施策の方向性は、3つのバランスが取れた方がよい。

・取組の柱をなくし、目標を加えました。
 ・施策の方向性について、活動に関する取組を「ひと」に集約し、バランスを取りました。



<第3回部会・第4回部会でのご意見>

- ・将来像と目標の内容が似通っている。
- ・将来像を具現化するために、何をするのかを目標に盛り込むとよい。
- ・基本理念を評価するような成果目標があってもよいのではないか。
- ・様々な評価指標を用いて、総合的に将来像が達成できているか評価できるとよい。
- ・活用されていることを直接測ることが必要。

- ・将来像を実現するために、何をするのかを目標に設定しました。
- ・目標の達成状況を量るための評価指標を設定し、調査結果とあわせて総合的に目標達成を評価します。

基本理念

みどりを知り・つくり・育み・活かし、
新たな価値を生み出し、まちの魅力を高めよう

持続可能な
グリーンシティさっぽろ

みどりの将来像

良好な自然環境が保全され、人と自然が共生しています。

- ◆1 森林、草地、市街地のみどりのオープンスペース、街路樹などのみどりのネットワークが保全され、多様な生物の生息・生育空間が確保されています。
- ◆2 天然林の保全や人工林の適切な管理により、市内の森林が保全され、地球環境の改善につながります。

五感を通して感じられるみどりが
保全・創出され、都市の魅力を高めています。

- ◆3 藻岩山や豊平川といった札幌市民の原風景となる美しい景観が保全され、快適な生活環境が維持されています。
- ◆4 公園や街路樹が適切に管理され、災害時には公園の持つ防災機能を発揮することで、安全・安心な都市となっています。
- ◆5 大通公園や中島公園といった大きな公園やみどりのオープンスペースが、市民や来訪者の憩いや賑わいの交流拠点となり、札幌に活力をもたらしています。

多くの方がみどりにふれあい、
幸福感のある日常生活を送っています。

- ◆6 公園や自然歩道などの多様なみどりを介して様々な世代が自然を学び、自然にふれあい、交流しています。
- ◆7 公園などでのみどりとふれあう活動を通じて、人と人がつながり、互いに支え合える優しい地域コミュニティを育てています。

目標

<<目標>> 森林・草地などの自然環境を適切に維持保全していきます。

<評価指標>

みどりの量

現況値 (H26) 32,015ha ⇒ (H40) 現況値以上

間伐などの手入れをした都市環境林の面積 (対象面積: 1,140ha)

現況値 (H30) 97ha ⇒ (H40) 200ha

<調査項目>

- ・緑被現況調査
- ・都市環境林整備状況調査
- ・市内の動植物の分布調査

<<目標>> 公園などのみどりで都市の安全・安心を高め、潤いや賑わいを創出していきます。

<評価指標>

都心部のみどり豊かであると感じている市民の割合

現況値 (H30) 73.7% ⇒ (H40) 現況値以上

公園のバリアフリー化率

・駐車場: 現況値 (H30) 57% ⇒ (H32) 60%

・トイレ: 現況値 (H30) 36% ⇒ (H40) 45%

<調査項目>

- ・市民アンケート調査
- ・公園バリアフリー化実施状況調査
- ・緑視率調査
- ・民間活力の導入状況調査
- ・公園の防災に資する機能配置調査
- ・利用者数調査

<<目標>> 市民がみどりを守り育て、ふれあうための取組を活発にしています。

<評価指標>

みどりづくりなどに参加した市民の割合

現況値 (H30) 61.2% ⇒ (H40) 現況値以上

コミュニティ活動に関する公園利用届件数

現況値 (H29) 1,967件 ⇒ (H40) 現況値以上

<調査項目>

- ・市民アンケート調査
- ・公園利用届分類調査

※色付き...各「重視すべき視点」に対応する箇所

「自然」「都市」「ひと」のみどりの将来像を具体的に示すため、各将来像のイメージ図とP9の全体図を作成しました。活動や活用なども含めたあるべき姿をイメージとして描いています。

<第4回部会でのご意見>

- ・みどりの基本計画でなにをしようとしているか一目でわかる図がよい。
- ・将来像が具体的にどのようなものか示せるとよい。
- ・大まかにゾーンを区切ってグリーンシティとは何かを概念的に示せる図がよい。

- ・「自然」「都市」「ひと」の将来像に対応したグリーンシティさっぽろのイメージをイラストで表現します。
- ・みどりの将来像図は、札幌市全域の大まかなゾーニングとし、本計画で目指す将来の姿を表現します。

今後、清書
していきます

みどりの将来像

良好な自然環境が保全され、人と自然が共生しています。

- ◆1 森林、草地、市街地のみどりのオープンスペース、街路樹などのみどりのネットワークが保全され、多様な生物の生息・生育空間が確保されています。
- ◆2 天然林の保全や人工林の適切な管理により、市内の森林が保全され、地球環境の改善につながります。

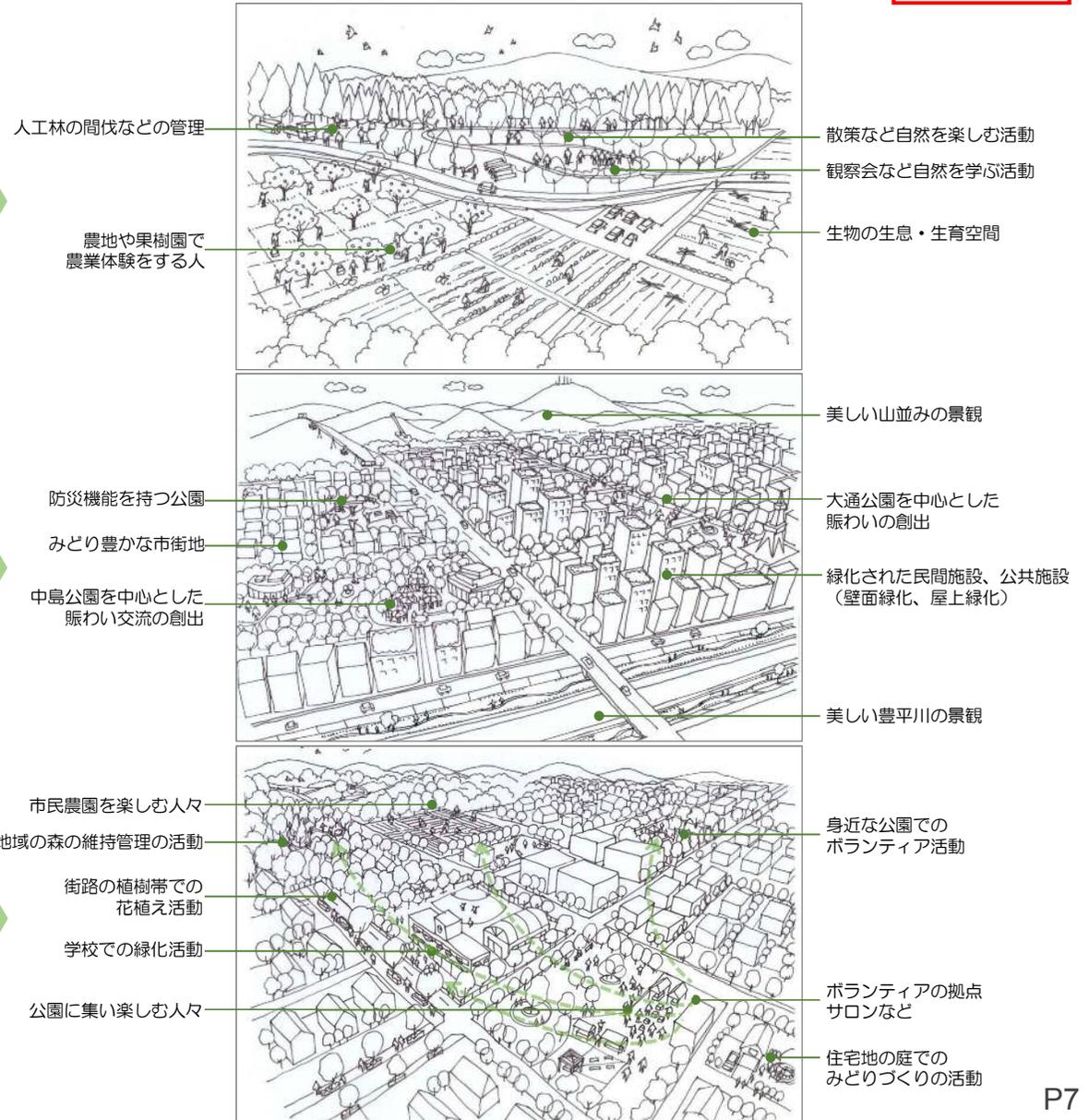
五感を通して感じられるみどりが保全・創出され、都市の魅力を高めています。

- ◆3 藻岩山や豊平川といった札幌市民の原風景となる美しい景観が保全され、快適な生活環境が維持されています。
- ◆4 公園や街路樹が適切に管理され、災害時には公園の持つ防災機能を発揮することで、安全・安心な都市となっています。
- ◆5 大通公園や中島公園といった大きな公園やみどりのオープンスペースが、市民や来訪者の憩いや賑わいの交流拠点となり、札幌に活力をもたらしています。

多くの方がみどりにふれあい、幸福感のある日常生活を送っています。

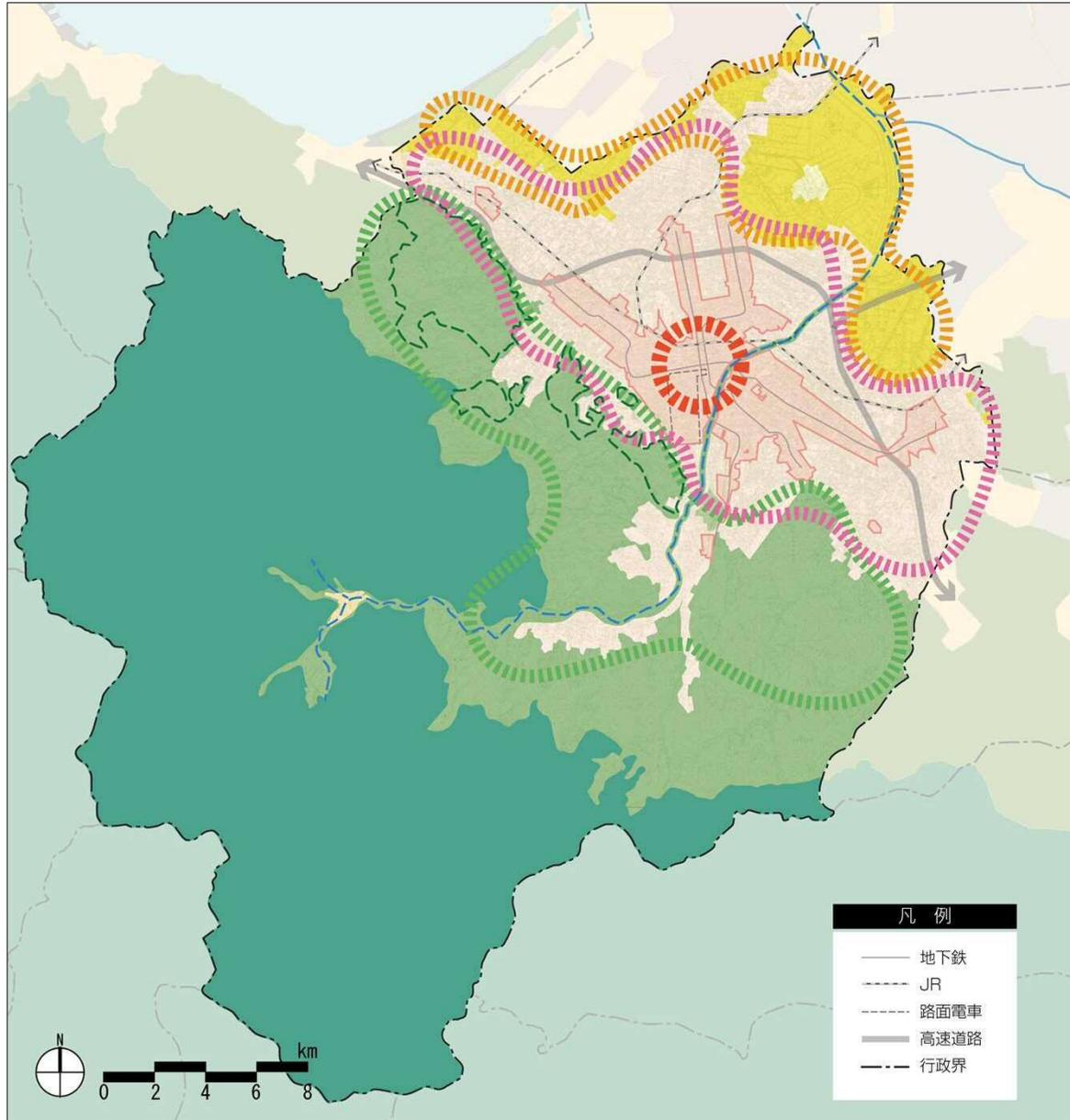
- ◆6 公園や自然歩道などの多様なみどりを介して様々な世代が自然を学び、自然にふれあい、交流しています。
- ◆7 公園などでのみどりとふれあう活動を通じて、人と人がつながり、互いに支え合える優しい地域コミュニティを育てています。

※色付き...各「重視すべき視点」に対応する箇所



札幌市全体でゾーンごとに本計画で目指す将来の姿を図示しました。

みどりの将来像図



新たな価値を生み出し、魅力を高めるゾーニング

森林を知り育み活かす みどりのエリア 	<ul style="list-style-type: none"> 人々が自然や生物多様性を学んだり、自然を楽しんだりする活動を展開していきます。 森林のみどりを育む活動を活発にしていきます。
平地を守り活かす みどりのエリア 	<ul style="list-style-type: none"> 草地や農地などの自然環境についての理解を深め、市民団体等の守り育む活動を推進します。 それらの活動を通じて、生物の生息・生育空間や農風景が保全します。
都心の魅力を高める みどりのエリア 	<ul style="list-style-type: none"> 市民や事業者、行政が一体となり、民間施設や公共施設の緑化を推進します。 都心のみどりの増加や質の向上、まちを彩り来街者をおもてなしする緑化が推進され、まちに活力と潤いをもたらします。
豊かな市街地を形成 するみどりのエリア 	<ul style="list-style-type: none"> 複合型高度利用市街地では、みどりが充実し、他の施設との複合化を図りながら、みどり豊かな市街地を形成します。 一般住宅地・郊外住宅地では、安全安心に配慮しながら、地域ニーズに応じた機能の再編やメリハリのあるみどりづくりが行います。

札幌のみどりの構造

奥山のみどり 山地丘陵のみどり 	<ul style="list-style-type: none"> 天然林・人工林の適切な管理更新により、持続的に森林が保全・活用が推進されています。
平地のみどり 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌らしい農風景や生物の生息・生育空間が保全されています。
複合型高度利用市街地 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に住居を誘導する地域として、他の施設との複合化を図りながら、みどり豊かな市街地が形成されています。
一般住宅地・郊外住宅地 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅地として整備されてきた区域で、街路樹や公園など、地域ニーズにあったみどりが形成されています。
山並み・河川 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の原風景である、市街地から見える山並みや、河川の美しい景観が形成されています。

都心のみどりづくり方針

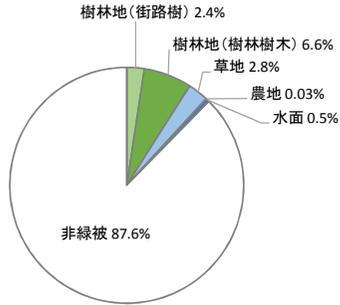
よりみどり豊かで魅力的な都心の形成に向けて、各種土地利用計画制度や民有地緑化への支援などで、建築物緑化や広場などのオープンスペースの緑化を進め、みどりの保全や質の高いみどりを創出するため、本方針を市民・活動団体・事業者等と行政が共有し、推進していきます。

■方針の前提条件

都心の緑被率の現状

札幌都心部の近年の緑被率は、平成26年度調査では約12.4%で、平成19年調査より0.4%の増加となっています。樹林率については、9.1%で約0.2%の増加となりました。増加の要因は創成川公園の造成や月寒通の緑被増、減少の要因は校舎やマンション棟の建設による緑被減となっています。

■H26(2014) 都心部の緑被率 (12.4%)



■都心のみどりづくりの現状

札幌のみどりの保全と創出に関する条例〔平成13年制定〕 (建設局みどりの推進部)

条例に基づき、「緑保全創出地域制度」があり、1,000㎡以上の敷地の建築物や工作物の建設などでは、緑化等が義務づけられている。

■地域種別と許可基準 ※準工業地域は、居住系と業務系が混在

保全創出地域種別	許可基準指標	許可基準	用途地域
居住系地域	緑化率	20%以上	住居系用途地域
業務系地域		10%以上	商業地域、工業地域、工業専用地域

第2次都心まちづくり計画〔平成28年〕(みどり関連抜粋) (まちづくり政策局 都心まちづくり推進室)

都心まちづくりの戦略

北海道らしい豊かなみどりや地球にやさしい環境を守り育てる持続可能なまちの実現

戦略推進のための施策

北海道・札幌を象徴する豊かなみどりを感じる空間の創出・拡充



さっぽろ都心みどりのまちづくり助成制度 (建設局みどりの推進部)

事業者が都心部で行う4つの緑化手法を対象とし、緑化費用の3分の2まで助成する制度があります。

■対象となる事業

緑化種別	定義	指定面積
空地緑化	公道に面する敷地内の地上部での緑化	10㎡以上
壁面緑化	建築物外壁面での緑化	5㎡以上
屋上緑化	建築物の屋上・屋根での緑化	10㎡以上
室内緑化	建築物内部での緑化	5㎡以上

助成対象経費が300万円の場合

自己負担額 100万円

助成額 (札幌市負担額) 200万円

最大 2/3



多層階にみどりを配置した多様な緑化のイメージ



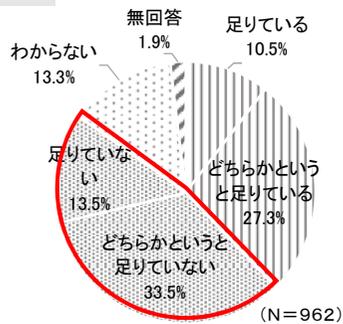
1年を通じてみどりを感じられる屋内空間のイメージ

市民アンケート〔平成30年〕

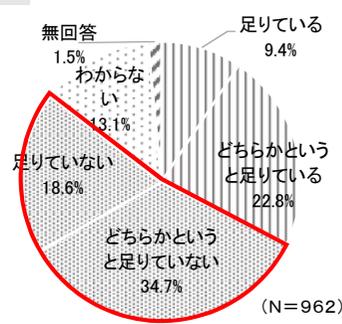
札幌のみどりで不足していることとして、「公園の再整備と機能の見直し」(34.6%)、「市民のニーズに対応した公園の充実」(30.6%)、「札幌の気候・歴史・風土に合った魅力的な景観の保全と創出」(26.9%)に次いで、「都心の施設(建物)のみどりの充実」(24.2%)が挙げられている。

また、都心の公共施設の緑化の充足についての設問に対しては、「**足りていない**」「**どちらかという**と足りていない****」が約**47%**を占め(グラフ1)、民間施設については、約**53%**と半数以上であった(グラフ2)。

グラフ1 都心の公共施設の緑化の充足



グラフ2 都心の民間施設の緑化の充足



市民ワークショップ〔平成30年〕

市民に札幌のみどりの印象について「**まちなかのみどりが少ない**」「**都心部のみどりが少なく、心がざびれる**」「**都心の樹木のバランスが悪い**」などの意見があった。

<第4回部会でのご意見>

- ・既存の計画にとらわれすぎずに、みどりの基本計画で取り組みたいことを強調したほうが良いのではないか。
- ・創成川は札幌駅の北側にも続いているので、矢印を伸ばした方が良い。新幹線のホームによって分断されることも踏まえる必要がある。
- ・大通公園や創成川周辺で何をするか示せるとよい。
- ・創成川イーストでは、新規整備推進地域で街路などを活用しながら緑化を推進するという方針を立てたほうが、方向性が明確になる。



- ・みどりの基本計画で、推進すべき都心の緑化の方針を示します。
- ・創成川(つながりの軸)を北側に伸ばしました。また、新幹線ホームの建設を見据え、札幌駅交流拠点を東側に拡大しました。

<都心のみどりづくり方針>

○公共施設の緑化の推進

公共施設の新築・改築の際には、市民が憩い、交流できる広場の整備や壁面・屋上・屋内緑化など、うるおいあるみどりのオープンスペースを創出します。

○民有地緑化の推進

・民有地緑化への助成

都心部での開発や再整備に合わせてみどり豊かな空間創出を推進するため、民有地において、みどりのオープンスペースの創出や、壁面緑化、屋上緑化、屋内緑地などの取組を支援します。

・民有地の優良事例の紹介

民間開発による都心での緑化活動を促進するため、具象的な計画の参考となる民有地緑化の優良事例を事業者に紹介します。

○まちづくりと連携した都心の魅力づくり

札幌の気候特性に対応したみどりのオープンスペースの充実を図るとともに、樹木の雪景色を見せるなど積雪寒冷地ならではの景観を意識したみどりづくりを推進します。

○都心のみどりの景観の向上

札幌駅交流拠点において、札幌の気候特性に対応した空間の充実を図り、創成川通は川を挟んで一体的のみどりが感じられるようにみどりのネットワークを拡大していきます。また、主要な通りの結節点などのポケットパークでは、みどりを配置し、うるおいのある滞留空間を確保します。

都心のみどりづくり方針

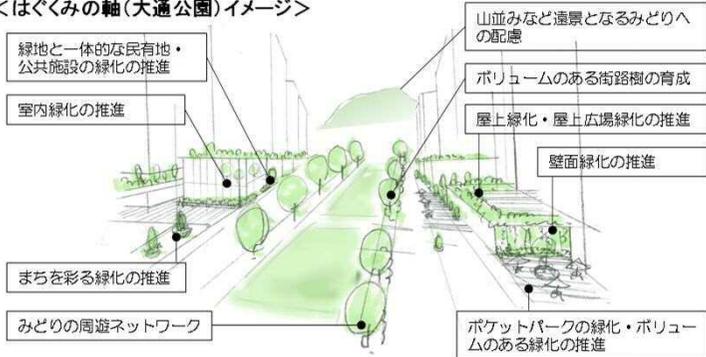
<都心のみどりづくり方針図>

【はぐくみの軸】



- 空地活用や民間開発誘導と連動し、大通東西のみどりの連続性を向上させる骨格となる緑化の推進

<はぐくみの軸(大通公園)イメージ>

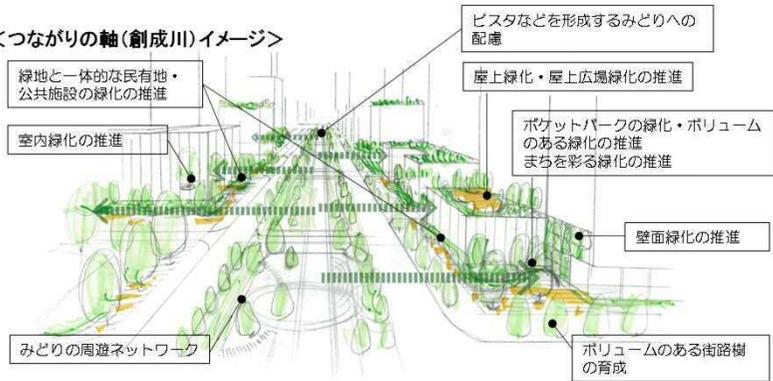


【つながりの軸】



- 創成川公園を軸とした水とみどりのネットワークの強化

<つながりの軸(創成川)イメージ>



【にぎわいの軸】

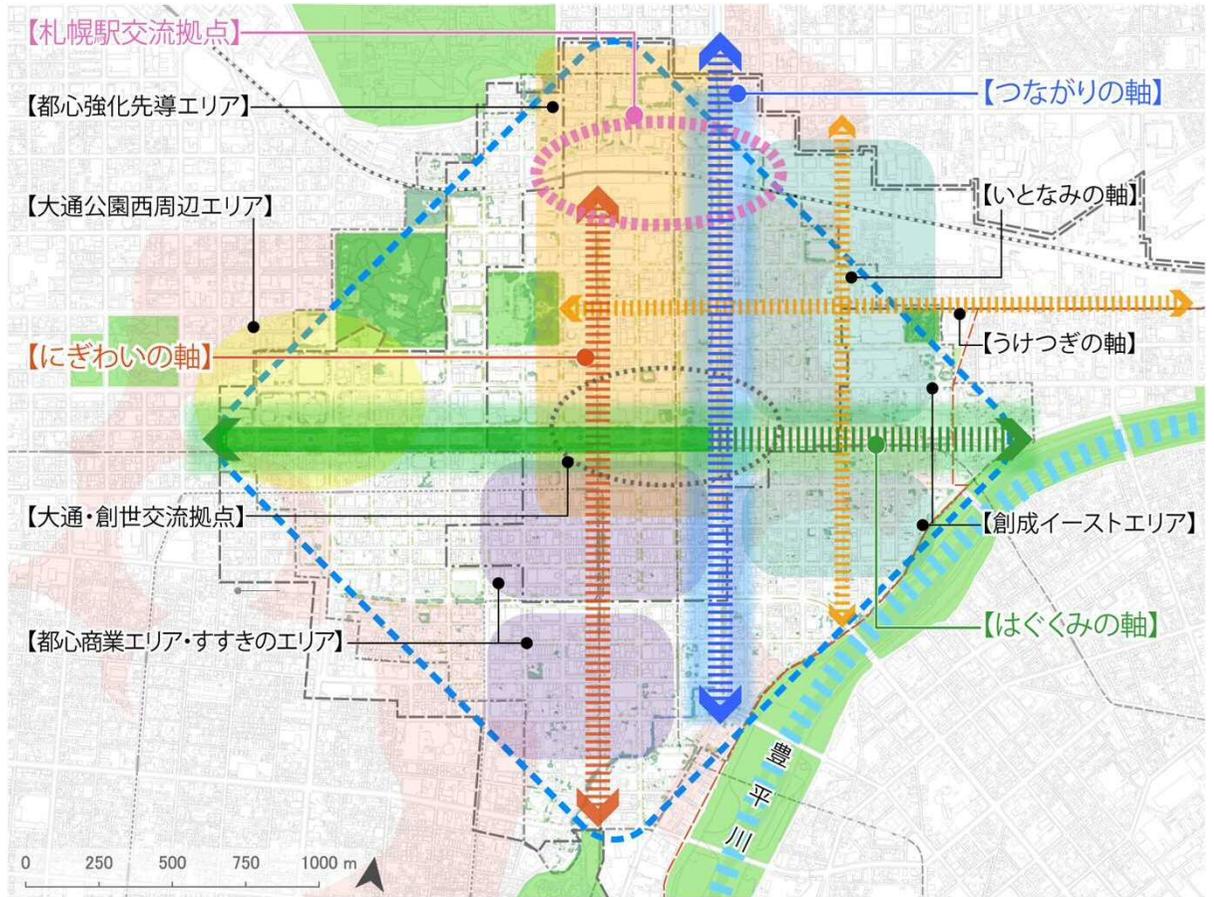


- 札幌を代表する目抜き通りの景観を彩る街路樹の育成
- 民間開発にあわせた沿道緑化や屋内緑化の推進

【札幌駅交流拠点】



- みどり豊かで快適な屋外・屋内環境の形成
- 札幌の玄関口として、顔となる質の高い緑化の推進



【うけつぎの軸】 【いとなみの軸】		それぞれの軸の特性を生かした街路樹の育成と沿道緑化の推進
【大通・創世交流拠点】		都心における象徴的な都市文化拠点にふさわしい質の高いみどりの保全と緑化の推進
【都心強化先導エリア】		民間開発誘導と連動した札幌都心の象徴的な都市空間を形成する質の高い緑化の推進
【大通公園西周辺エリア】		道路事業や建物の更新に合わせた緑化や滞留広場の確保による植物園・大通公園・知事公館などをつなぐみどりの周遊ネットワークの強化
【都心商業エリア・すすきのエリア】		民間開発誘導と連動した緑化や沿道植栽デザインの向上などまちを彩る緑化の推進
【創成イーストエリア(北・南)】		公園未充足エリアであることを踏まえ、空地活用や民間開発誘導による憩いや交流のための滞留空間確保に連動した緑地整備と緑化の推進